



生徒支援室だより(第2号)



生命は 吉野 弘

(『二人が仲睦まじくいるためには』より引用)

生命は
自分自身だけでは完結できないように つくられているらしい
花も
めしべとおしべが揃っているだけでは 不十分で
虫や風が訪れて めしべとおしべを仲立ちする
生命は
その中に欠如を抱き
それを他者から満たしてもらおうのだ

世界は多分 他者の総和
しかし
互いに 欠如を満たすなどとは 知らされもせず
ばらまかれている者同士 無関心でいられる間柄
ときに うとましく思うことさえも許されている間柄
そのように 世界がゆるやかに構成されているのは なぜ？

花が咲いている
すぐ近くまで 虹の姿をした他者が 光をまとって飛んできている
私も あるとき 誰かのための虹だったろう
あなたも あるとき 私のための風だったかもしれない



声に出して読んでみると、この詩のおおらかさに、優しく包みこまれるような感覚になります。

私たちそれぞれが完全ではなく、足りないものがあること、それゆえに感じる空虚さや孤独。だからこそ私たちは互いにそれを認め合い、支え補い合い、寄り添いながら生きる。私は誰かを必要とし、誰かが私を必要としている。そのようにして世界は成り立っている……。この詩には、そんなメッセージが込められているような気がします。

1. 人権道德LHRを終えて…



先日の人権道德LHRはどうでしたか？みなさんひとりひとりが考えてくれたことが今後の人生の背中を押してくれると思っています。もう一度、印象深い言葉を書きます。

「僕たちは自分で自分を決める力をもっている。誤りを犯すこともある。しかし、誤りから立ち直ることもできるのだ。」

マンガは図書館にもあります。ふだん本をあまり読まない僕も気になった一冊です。一度手に取ってみてください。よい本との出会いは人生の宝物です。



2. スクールカウンセラーの紹介とメッセージ

今年度は、スクールカウンセラーとして五明^{ごみょう}優介先生が本校に来て来てくれています。生徒のみなさんはもちろんのこと、保護者の方々も、気軽に利用してください。

○今、やりたいことは旅行です。ヨーロッパを巡りたい。

でも時間ないのが悩み…。あと、フランス・ドイツ語とか…。

○風邪は誰でもひきます。悩みは誰でも持ちます。風邪をひけば薬を飲みます。悩めば誰かに相談します。

悩むのはしっかりと考えている証拠。悩んだときに誰かに話を聞いて欲しいのは当然。どんな話でもいいので、1人でつらくなってきたら話に来て下さい。



スクールカウンセラー来校予定日 **（予約制です！）**

7月の予定は

7月1日(月)・8日(月)・19日(金)

です。

※日時に変更する場合があります。ご相談の際は、**事前に連絡・予約**をお願いします。

3. 南紀若者サポートステーションの紹介

今年度も毎週水曜日、南紀若者サポートステーションから戸田さんと西森さんが本校に来て来てくれています。生徒の皆さん、気軽に相談してください。



こんにちは 南紀若者サポートステーションです。毎週水曜日、お昼休みの時間、本館2階教育相談室にお邪魔しています。あまり聞き慣れない方もいると思いますが、皆さんのいろいろな悩み事をお聞きしたり、進路や就職、アルバイトなどの相談をしていただくことができます。特に悩みはなくても気軽にお話しに来てもらえるだけでもうれしいです。来ているときは教育相談室前に看板を出しているの、見かけたらぜひ気軽に声をかけてください。

戸田さんから

南紀サポステの戸田真矢です。マンガが好きで図書室でマンガを読んでいることもあります。見かけたら声をかけてください。ジャンプは今だに毎週読んでいます。

西森さんから

南紀サポステの西森です。相談支援員をしています。何でも気軽にお話ししてくると嬉しいです。バスケットと料理が好きです。扇ヶ浜のバスケットリングで中高生のバスケットにまざってゼーゼー言っている人がいたら僕です。